



消防だより 119

熱中症に注意！

本格的な夏の暑さがやってくるこれからの季節は、

熱中症が増える時期です。全国各地で、猛暑により熱中症で搬送された人が多く、他人事ではありません。屋外に限らず室内でも熱中症は発生します。

また、マスクをしていると

脱水や体温上昇に気づきにくく熱中症になりやすいので次のことに注意し夏を元気に過ごしましょう。



熱中症対策 7 箇条

- ①部屋の温度をこまめにチェック！（普段過ごす部屋に温度計を置いてみては？）
- ②室温が 28 度を超えないよう、エアコンや扇風機を上手に使いましょう！
- ③のどが渇かなくても、こまめに水分補給！
- ④外出するときは体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策も！
- ⑤無理をせず、適度に休憩を！
- ⑥日ごろから栄養バランスのよい食事と体力づくりを！
- ⑦わずかな時間でも子どもを車内に絶対に残さない！（子どもは大人より高温環境にさらされています）

花火で遊ぶときは 注意しましょう

夏の夜の楽しみといえば花火ですが、遊び方や後片付けの方法を誤ると火災につながる恐れもあります。

子どもたちだけの「花火」は避け、必ず大人が付き添うようにしてください。

また、花火で遊ぶときは、注意し、火災発生の防止を心がけてください。

- ①花火は広く安全な場所で行い、燃えやすいもののある場所では遊ばないでください。
- ②遊び終わった花火は水バケツに浸してください。
- ③子どもだけで花火はさせないでください。
- ④風の強い日は花火で遊ばないでください。

お盆の火災予防

お盆は先祖を供養する大切な行事ですが、先祖供養のため多くの人が訪問すること増え、仏壇やお墓などで火を使うことが多くなります。ろ

うそくや線香の火が原因で火災が発生した事案が多数ありますので、十分注意してください。

①ろうそくの火をつけているときは、絶対にその場を離れない。

②安定した不燃性（金属、陶磁器など）のろうそく台や受け皿を用いて、ろうそくを使用する。

③ろうそくの周囲に燃えやすいものを置かない。

④電気式の盆提灯などは使用前に配線を確認する。

⑤座布団や敷き物は防災製品にする。

⑥火災を早く発見するため、住宅用火災警報器を設置する。

西胆振行政事務組合では ホームページを 開設しています

各種試験案内・講習会のお知らせ、住宅用火災警報器設置や消火器点検内容、各種届出・申請様式（ホームページからダウンロードできます）などが掲載されています。

また、西胆振行政事務組合消防本部は、情報発信のため公式 Facebook を開設しました。メッセージやコメントの応答、Facebook 上からの緊急通報や出動要請は一切受けできませんのでご了承ください。問い合わせなどについては公式ホームページを参照してください。

西胆振行政事務組合消防本部
HP <http://nfd119.sakura.ne.jp/index.html>

災害案内ダイヤル のお知らせ

西胆振行政事務組合消防本部では、消防車が災害出動した場合、自動音声による災害案内を実施しています。【災害案内ダイヤル ☎ 0142-23-7171】間違いの無いよう利用してください。

統一標語

『その火事を
防ぐあなたに
金メダル』